## 入院診療計画書 (人工股関節全置換術を受けられる方へ)

ID番号 @PATIENTID 病名(他に考える病名) 氏名 @PATIENTNAME

症状

@PAT I ENTWARD

庫

@PATIENTROOM

号室

担当医師 <u>@USERNAME</u> <u>印</u> <u>担当看護師</u> <u>担当薬剤師</u> <u>その他担当者名</u>

<u> </u>	DEIMAME	<u>中</u> <u>18 3 4 6 6 m</u>		<u>這 3 未 別 心</u>		<u> </u>		@SYSDATE	
月日	手術決定から入院まで	入院当日(手術前日)	手術当日(前) ( / )	手術当日(後)	術後1日( / )	術後2日( / )	術後3~8日 ( / ) ~ ( / )	術後9~13日 ( / )~( / )	術後14日 ( / )
経過		八院	手術室に 入室します	術後は病室に帰ってき ます					退院
目標		準備が整い、手術が うけられる 状態である			^゙ッドの脇に 座る、立つ 事ができる	車椅子移動や 歩行器歩行が できる	安定して歩行器歩行ができる	T字杖での 歩行訓練が できる	T字杖歩行が安定し、 階段昇降ができれば退 院になります。
検査	全身麻酔の検査 をします	レントゲン検査が あります		帰室後採血があります	採血があります	採血があります	3日目にレントゲンがあります 7日目に採血とレントゲンが あります	13日目に採血と レントケンがあります	
治療		術前のリハピリがあります 脱臼予防の動き方の指導を 行います		酸素吸入をします 創の管・尿の管が入っ てきます	リハビリを開始します	トイルにいける ようになっ たら尿の管を 抜きます		必要な場合はストレッ チングを開始します	
処置		リストバンドを つけます 腕に血液型と名前を 書きます	手術しない方の足に、 弾性ストッキングを履 きます		創の管を抜きます	創の管の抜去部を 確認します	術後4日目、6日目 8日目ごろ、 創部の処置をします	術後10日目ごろ創部を処置し、滲みだしなければ、創部のフィルムは除去します。	弾性ストッキングは 脱げます
観察		体温・脈拍・血圧を 測定します		術後1・3・6時間後、 以降翌朝6時に血圧を 測ります。	体温・脈拍・血圧を測	則定します 📞			
注射			点滴を行います プ	抗生剤・痛み止めを	痛みのある時は 我慢せず、お知 らせください。	食事量が安定したら点 滴を終了します			·
内服	いつも内服している薬を確認します	いつも内服している 薬を見せて下さい。 薬剤師、看護師がお 薬の確認をします。	医師から指示の あった薬のみ、 少量の水で内服 します		くすりの内服 始めます 血栓予防のお		ます (10日間) ※大切な	お薬です。指示通り内服	して下さい。
食事		医師の指示の時間から 絶飲食になります 時間はわかり次第 おしらせします	絶飲食です (うがいや 歯磨きは 可能です)	術後は許可があるまで 食べたり飲んだりでき ません	朝から食事がでます				<b>→</b>
行動					体担行に	ੀきを ∖ます	シャワ	フーが可能になります	
説明	手術の準備品の 説明をします 普段の生活状況について お話しを伺います	手術の説明が あります		術後の説明があります				退院の説明があります	お大事に
注1) 库夕け	理時占で考えられるもので?	上    人名の投本学も#	サインノニ たがって亦も	川須ませので士					

- 注1) 病名は現時点で考えられるものであり、今後の検査等を進めていくにしたがって変わり得るものです。
- 注2) 入院期間については現時点で予想されるものです。

有

注3) 特別な栄養管理の必要性については、電子カルテ等様式の変更が直ちにできない場合、食事の欄に記載してもよい。 特別な栄養管理の必要性

福島県立医科大学附属病院 パス承認番号(NO.14) 承認月(平成16年1月13日)

<del>- 12000gに - 1</del>

署名: 続柄: